



桃井 哲郎さん

平成29年から、ここで働いています。以前はデイケアを利用していましたが、通い慣れてきて次のステップに進んでみたいなど思っていたところで「studio753」の設立の話を聞き、働き始めました。

仕事の内容は庶務全般で、備品等の在庫管理や洗い物、買い出し、買い物袋へのスタンプの捺印等、いろいろなことを担当しています。どちらかといえば裏方の仕事が好きで、同僚の仕事の段取りを整えたり、手伝ったりして、仕事全体がスムーズに進んだときがとても嬉しいです。

ここで働き始めたことで、自宅で家事をするようになったりと、私生活にも大きな変化が生まれました。studio753は、私にとっては生活のリズムを作ってくれる場所です。



猶崎 優子さん

ここで働き始めて、9月で3年目を迎えました。「自主性をしっかり身につけて、働き続けるために必要なことをもっと学びたい」と考えていくつかの事業所を見学していたとき、ここが自分の考えに合っているなどと思い、studio753を選びました。

主な仕事は、アクセサリー等の雑貨のための台紙の用意や袋詰め等、商品として形にするための「仕立て」という作業で、一つ一つの商品ができたときの達成感にやりがいを感じます。

ここでの仕事を通して、誰かが困っているときに自分から声をかけたり手伝ったりできる積極性や、お客様からお金をいただいて働く上での心構えを、もっと磨いていきたいと思っています。



一人ひとりが 描く働き方

12月3日～9日は障がい者週間

障がい者週間は、障がいのある方がさまざまな活動に積極的に参加できるよう、障がいのある方への関心・理解を深めるための週間です。

区は、障がいのある方への支援のひとつとして「働く意欲」を応援しています。今号では、区内で軽食やコーヒー、雑貨の提供・販売を行う就労継続支援B型事業所「studio753（東日暮里6-22-13）」で働く皆さんや、区の障がい者支援の取り組みを紹介します。

問合せ

障害者福祉課庶務係 ☎内線2681

区では、障がいの程度、個人の状況等に合わせて、一人ひとりが自ら望む生活を送れるよう、さまざまな支援を行っています。2面で、それぞれの取り組みを紹介します